

### 平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |  |
|---------------|--|
| 事業名           | 早春賦誕生100年記念と交流事業                                 |
| 事業主体<br>(連絡先) | 早春賦愛唱会<br>(安曇野市穂高柏原 1701-3)                      |
| 事業区分          | (3)教育、文化の振興に関する事業<br>(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 |
| 事業タイプ         | ソフト  |
| 総事業費          | 1,589,450円 (うち支援金: 1,192,000円)                   |

#### 事業内容

9月に行った3日間にわたる早春賦チクルスは、児童、学生、ソリスト、合唱団員、来場者が一体となつてつくりあげた、早春賦誕生100年記念事業の集大成とも言えるべきものであった。特に、あまり上演される機会がなく眠りについていた、吉丸一昌作の日本初のおペレッタ「うかれ達磨」を再演、人々に鑑賞してもらふ機会が持てたことは、有意義であった。

記念誌は、多くの方々の寄稿文も掲載、内容の深いものとなった。また、出演団体と日程調整等がつかず、中止となった交流コンサートは、「HEIWA映画祭とコンサート」という形で別立てで実施した。



【オペレッタ うかれ達磨】

※1 自己評価 (事業実施) 【 A 】

#### 事業効果

- 1) 早春賦の作詞者吉丸一昌の人物像、功績を顕彰することができた。
- 2) イベントに多くの小中学生の参加を得ることができ、吉丸一昌の理念である「若い芽を育てる」を実践することができた。
- 3) 県内外に事業を発信することにより、地域間、団体間の交流が増え、絆が深まるとともに、観光振興にも役立った。

**【目標・ねらい】**

- 作詞者吉丸一昌を顕彰する
- 吉丸一昌の理念「若い芽を育てる」を実践する。
- 交流の絆を深める
- 安曇野を全国に向け発信する

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

#### 今後の取り組み

早春賦誕生100年を記念して、一昨年より多くの事業を展開してきたが、今年度を持って全て終了となった。今後はさらに活動の輪を広げ、地域・世代を超えた交流の絆を一層深め、生き生きとした地域づくりに取り組むとともに、吉丸一昌の理念を継承していきたい。

また、日本の名歌「早春賦」を軸として、安曇野を「愛唱歌のふるさと」として、全国に向け発信していきたい。